

NEDO 懸賞金活用型プログラム／GENIAC-PRIZE 2026

～フィジカル AI に向けた開発者育成（学生）のための公開型の基盤モデル開発～

【懸賞広告】

（１） 懸賞金の交付の対象とする課題

- ・ 懸賞広告の件名

NEDO 懸賞金活用型プログラム／GENIAC-PRIZE 2026

- ・ 課題

フィジカル AI に向けた開発者育成（学生）のための公開型の基盤モデル開発

- ・ 課題の内容

本事業では、優秀な AI 人材を発掘・育成し、日本国の AI 人材基盤の強化に繋げることを目的とし、AI 基盤モデル開発を行う懸賞金型コンテストを実施する。コンテストでは、スクリーニングを通過した応募者に対して、事務局が指定する必須参加課題（以下、必須課題）について、予選審査・最終審査の２段階審査をチーム単位でおこない、受賞者を決定する。また、参加者の自主的な挑戦機会の拡充を目的として、企業・団体等（以下、事業者）が提案する自由参加課題（以下、自由課題）を設定する。

- ・ 応募対象者

応募対象者は、原則として、2026 年 4 月 1 日時点において、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づく学校若しくはこれに相当すると認められる海外の教育機関、又は国、地方公共団体若しくはこれらに準ずる公的機関が設置する教育訓練機関に在籍し、日本の国籍を有する 1996 年 4 月 2 日 ～ 2014 年 4 月 1 日生まれの者とする。

※未成年が応募する場合は、保護者の同意書の提出を必須とする。

※国際的なコンテストにおいて受賞歴を有するなど、当該分野において卓越した能力・実績を客観的に証明できる者については、12 歳未満であっても応募を認める場合がある。

- ・ 応募方法

- 特設サイトで公開する応募フォームから、所定の必要事項を記入の上、応募すること。なお、チームリーダーとしての参加を希望する者は応募締切りが異なるので注意すること。
- スクリーニングを通過した者は、事務局が提示するチームリーダーが組織するいずれかのチームに所属するものとする。

- ・ 応募締切

チームリーダー応募締切り：7 月末頃

メンバー応募締切り：9 月末頃

※状況に応じて延長・変更する場合がある

(2) 懸賞金およびインセンティブ

・ 懸賞金

総額約 3,000 万円

【予選審査】

予選審査上位チーム（最終審査参加者）：全員に一律、懸賞金を支払う

※懸賞金額については特設サイトにて公開する。なお、予選審査上位チームのメンバーであっても、当該審査における貢献が著しく低いと認められる場合や最終審査へ参加しない場合には、支給対象外とする。

※最終審査では実機を用いたデモンストレーションによる評価等の宿泊交通費の負担が必要となる場合がある。

※2026 年 9 月末を目処に正式に公表する予定。

【最終審査】

➤ 必須課題

1 位（1 チーム）

2 位（1 チーム）

3 位（1 チーム）

特別賞※（複数者）

➤ 自由課題

特別賞※（複数者）

※特定のテーマ・項目に秀でた応募者に授与予定（詳細は別途公表）

・ 参加インセンティブ

基盤モデル開発に係る基礎講座を無償で公開する。基礎講座の詳細は、特設サイトで別途案内予定。

また、各審査参加者に対し、以下のインセンティブを提供する。

【スクリーニング参加者】

➤ 事務局が主催する交流会や表彰式等への参加（任意）

【予選審査参加者】

➤ 応用講座の受講資格

➤ 計算リソースの利用資格（チーム単位）

➤ 本事業特設コミュニティへの参加（Slack 等）

【最終審査参加者】

➤ 計算リソースの利用資格（チーム単位）

➤ 継続的な成長・キャリアパスを目的とした GENIAC コミュニティのイベント参加機会、企業インターン等の機会提供（予定）

※参加インセンティブは、状況に応じて追加・変更される場合がある。

(3) 課題および審査内容

(3-1) スクリーニング

チームリーダー候補およびメンバー候補について、それぞれ書面スクリーニング(チームリーダーについては面接を含む)を行う。

・ チームリーダーの選任プロセス

- 応募フォームに記載された内容に基づき、事務局にて下記の観点から書面スクリーニングおよび面接を行う。
 - ◇ 年齢・所属などの基本情報
 - ◇ 基礎講座を全て受講し、当該講座の認定書を受領しているか/現在基礎講座を受講中で、認定書を受領見込みか
 - ◇ 特定のコンテストにおける受賞実績やフィジカル AI の学習・実装経験等、特に優れた点を有するか
 - ◇ 本コンテストにおいて必要な学習・活動時間を確保の上、最後まで辞退せずに取り組むことができるか
 - ◇ これまでの開発経験・資格
 - ◇ チームリードの経験
- 特定地域への偏在を避ける観点から、チームリーダーの選定において、地域バランスを考慮するものとする。必要に応じて、地域ごとの採択枠(以下「地域枠」という。)を設ける場合がある。
- チームリーダーに選任されなかった者は、メンバーとしてスクリーニングを行う。
- 具体的なスクリーニング方式、実施方法等については、別途特設サイトにて公開する。

・ メンバーの選任プロセス

- 応募フォームに記載された内容に基づき、事務局にて下記の観点から書面スクリーニングを行う。
 - ◇ 年齢・所属などの基本情報
 - ◇ 基礎講座を全て受講し、当該講座の認定書を受領しているか/現在基礎講座を受講中で、認定書を受領見込みか
 - ◇ 特定のコンテストにおける受賞実績やフィジカル AI の学習・実装経験等、特に優れた点を有するか
 - ◇ 本コンテストにおいて必要な学習・活動時間を確保の上、最後まで辞退せずに取り組むことができるか

☆ チームリーダーからの推薦を有するか

- 特定地域への偏在を避ける観点から、メンバーの選定において、地域バランスを考慮するものとする。必要に応じて、地域ごとの採択枠（以下「地域枠」という。）を設ける場合がある。
- さまざまな学生の参加を促進する観点から、年齢や経験に応じて通過の可否を決定する場合がある。
- 具体的なスクリーニング方式、実施方法等については、別途特設サイトにて公開する。

（３－２）必須課題

本課題は、AI 基盤モデル開発に必要な基礎的能力および実践的開発能力を総合的に評価することを目的として、事務局が指定する課題に基づき実施するものである。参加者は、チームで協力して課題に取り組み、モデルの性能、実装力、創意工夫等を競うものとする。

（３－２－１）予選審査

チーム単位で AI 基盤モデルの開発を行い、当該モデルの性能評価により審査を行い、上位チームは最終審査への参加権を付与する。

また、個人の創造性および主体的な取組を促進する観点から、チームリーダーおよびメンバーとして特に優れた成績を取めた者については、予選審査の結果に関わらず、最終審査における特別チームへの参加権を付与する場合がある。

なお、予選審査上位チームのメンバーであっても、当該審査における貢献が著しく低いと認められる場合は、当該者を最終審査参加対象から除外する場合がある。

・ 課題設定

- 本審査においては、フィジカル AI（シミュレーション学習、ロボット制御、実世界タスク等）への適用を見据えた課題設定を行う予定。
- 具体的課題については、プログラム生成を通じたシミュレーション上での制御（例：CaP-X のような枠組み）を想定するが、最新の技術動向等を踏まえ、内容を変更する場合がある。
- 学習に用いるデータおよびベースモデルについては、事務局が別途指定する内容に従うこと。
- 具体的な審査方式、評価指標、実施方法等については、別途特設サイトにて公開する。

（３－２－２）最終審査

予選審査を通過したチーム（および特別チーム）を対象に、チーム単位で AI 基盤モデルの高度化および実装を行い、その成果に基づき審査を行う。

最終審査においては、必須課題への取組内容および成果について最終審査会においてプレゼンテーションを行い、その内容を踏まえて総合的に評価し、最も優れたチ

ームを1～3位として選定し、懸賞金を授与する。

- ・ 課題設定

- 本審査においては、フィジカル AI（シミュレーション学習、ロボット制御、実世界タスク等）への適用を見据えた共通課題を事務局にて指定する。
- 具体的課題については、プログラム生成を通じた実機制御（例：CaP-Xのような枠組み）を想定するが、最新の技術動向等を踏まえ、内容を変更する場合がある。
- 最終審査では、予選審査と比較して、より高度な課題設定とし、計算リソースの割当量の拡充、学習期間の延長等を通じて、モデルの性能向上および実環境における適用能力を評価する。実機を用いたデモンストレーションによる評価を実施する予定。
- 学習に用いるデータおよびベースモデルについては、事務局が別途指定する内容に従うこと。
- 具体的な審査方式、評価指標、実施方法等については、別途特設サイトにて公開する。

（3－3）自由課題

フィジカル AI に関する課題について、事業者から広く課題提案を募集する。なお、当該課題は、参加者の自主的な挑戦機会の拡充および実践的な開発経験の提供を目的として実施するものである。

- ・ 課題設定

- 事業者から提案された課題については、懸賞金交付等審査委員会において内容を審査し、選定された課題を特設サイトにて順次公開する。
- 自由課題への参加対象者は、原則、スクリーニングを通過した者に限るものとする。
- スクリーニング通過者は、公開された課題の中から任意に応募し、当該事業者の協力の下、課題解決に取り組むことができるものとする。本課題への参加は任意とし、原則として個人単位での参加とする。ただし、課題内容に応じて、参加者の選定その他必要な条件を設定する場合がある。
- 自由課題については、課題ごとに審査を行い、優れた成果を収めた個人に対して、特別賞を授与する。
- 事業者による課題提案の方法、要件、スケジュール等の詳細については、別途特設サイトにて公表する。
- 具体的な審査方式、評価指標、実施方法等については、別途特設サイトにて公開する。

（4）チーム編成

(4-1) 予選審査

- ・ チームリーダー
 - スクリーニングの結果に基づき、チームリーダーとして認定された者について、予選審査への参加を認めるものとし、その一覧を特設サイトにて公表する。
 - チームリーダーとして認定された者は、自らのチームに所属するメンバーの選定に関し、一定の裁量を有する。
- ・ メンバー
 - スクリーニングを通過した者は、事務局が提示するチームの中から参加を希望する任意のチームを選択するものとする。
 - 特定のチームに希望者が集中した場合、又はチームの構成が偏在する場合には、事務局において抽選又は調整を行う場合がある。
 - いずれのチームにも所属しない者が生じた場合には、事務局においてチーム編成又はマッチングを行うものとする。
- ・ 留意事項
 - 審査通過者はコンテストの途中で辞退しないこと。
 - やむを得ず辞退する場合は事前に事務局に辞退理由を通知し、許諾を得ること。
 - 審査通過チームが無断で辞退した場合、NEDO は使用した計算リソース等費用の返還を請求することがある。
 - チーム編成に関する具体的な手続等の詳細については、特設サイトにて別途公表・変更を行う可能性がある。

(4-2) 最終審査

- ・ チーム編成
 - 最終審査においては、予選審査を通過したチームの構成を原則として継続するものとする。
 - ただし、予選審査の結果を踏まえ、チームの強化を目的として、チームメンバーを追加することを認める場合がある。この場合、追加可能なメンバーは予選審査に参加した者のうち、落選となった者に限るものとする。なお、最終審査に進出したチームのメンバーについては、当該チームから他チームへの移動は、原則として認めない。
- ・ 特別チーム
 - 予選審査においてチームで敗退した場合においても、個人として優れた成績を収めた者については、最終審査への参加を認める特別チームを編成する場合がある。
- ・ 留意事項

- 審査通過者はコンテストの途中で辞退しないこと。
- やむを得ず辞退する場合は事前に事務局に辞退理由を通知し、許諾を得ること。
- 審査通過チームが無断で辞退した場合、NEDO は使用した計算リソース等費用の返還を請求することがある。
- チーム編成に関する具体的な手続等の詳細については、特設サイトにて別途公表・変更を行う可能性がある。

(5) 事務局からの支援内容（予定）

- ・ 講座の提供
参加者がフィジカル AI 開発に取り組む上で必要となる講座を提供する。
講座の詳細については特設サイトにて公表する。
- ・ メンターの提供
本課題における技術的な質疑対応、チーム運営に関する助言等を行うため、各チーム担当のメンターを提供する。
- ・ 計算リソース（GPU・ストレージ）の提供、保守運用
本課題の実施に必要な計算リソースを、チーム単位で提供する。
併せて、計算リソース提供ベンダーとの各種問い合わせ等についてもサポートする。
- ・ チームリーダーサポート
チームリーダーとの定期的なメンタリングを通じて、チームリーダーをサポートする。

(6) 懸賞金の交付決定および分配の方法

- 民法に基づき、以下の審査を経て決定した受賞者に懸賞金を支払う。
- ・ 応募チームによる研究開発の成果をコンテスト形式で審査し、目標水準以上の成果を上げたチームに対して懸賞金を交付する。
 - ・ チームに対する懸賞金はチームメンバーの間で等分する。ただし、チームリーダーについてはメンバーの3倍の額となるよう分配を行う。なお、千円未満は切り捨てとする。
 - ・ 成果提出締切日時までに成果の提出がなかった場合や審査の結果、目標水準に達する受賞チームがいなかった場合等には、「受賞チーム該当なし」とする。
 - ・ 受賞者に対しては、コンテストの結果（順位、懸賞金額、目標の達成度等）を通知し、NEDO のホームページにおいて受賞者、順位、目標の達成度等を公表する。
受賞者以外のスクリーニング通過者に対しては、受賞者とならなかった旨を通知する。

- ・審査通過者が辞退した場合、審査通過者の繰り上げ等を事務局の判断により行うことがある。
- ・受賞者が受賞または懸賞金を辞退した場合、受賞者の繰り上げ等を事務局の判断により行うことがある。

(7) 審査員

NEDO が交付する懸賞金のコンテストの審査は、以下表に示す当該課題領域の有識者で構成する懸賞金交付等審査委員会を設置し実施する。今後、審査員を変更・追加する可能性がある。

審査員名 (敬称略・五十音順)	所属情報等
久池井 茂	国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 知能ロボットシステムコース 教授
松尾 豊	東京大学 大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授
その他、後日公開	—

- ・審査員のうち、各応募者と利害関係(※)を有する者は、その応募者および応募チームについての審査から外れることとする。
- ・協賛事業者が付いた場合、その事業者と利害関係(※)にある応募者および応募チームは、協賛事業者が実施する審査部門の審査対象から外れることとする。

(※) 利害関係者の範囲について

- 一 審査を受ける者の配偶者、四親等内の血族、三親等内の姻族若しくは同居の親族にある者
- 二 審査を受ける者と大学・研究機関において同一の学科・研究室等又は同一の企業に所属している者
- 三 審査を受ける者が提案する課題の中で研究分担者若しくは共同研究者となっている者又はその者に所属している者
- 四 審査を受ける者が提案する課題と直接的な競争関係にある者又はその者に所属している者
- 五 その他機構が利害関係者と判断した者

(8) 懸賞金の支払方法

- ・受賞チーム決定後、受賞チームからの請求書の提出をもって受賞チームメンバー全員に NEDO が支払う。
- ・請求書の発行については、別途受賞チームのメンバー全員に事務局から案内する。
- ・受領後に必要な税務等の手続きについては、受賞者が適切に対応する。

(9) スケジュール (予定)

懸賞広告：2026 年 5 月 29 日

応募説明会：2026 年 6 月 23 日 18:30-20:00

チームリーダー公募期間：2026 年 6 月頃～7 月末頃

メンバー公募期間：2026 年 6 月頃～9 月末頃

講座提供期間：2026 年 7 月～9 月頃

スクリーニング (チームリーダー)：2026 年 8 月頃

スクリーニング (メンバー)：2026 年 10 月頃

予選審査～最終審査：2027 年 11 月～3 月

表彰式 (最終審査結果発表)：2027 年 3 月頃

スケジュールの詳細は、決定次第本事業特設サイトにて公開する。

※状況に応じて延長・変更する場合がある

(10) 応募者の資格

- ① 日本国に籍を有する者 (個人) が応募すること
- ② 事業管理上、NEDO の必要とする措置を適切に遂行できること。
- ③ NEDO「懸賞金の交付等に関する規程」第 5 条 (応募者の暴力団排除に関する誓約) の事項 (以下に記す) のいずれにも該当しないこと。
 - 一 法人等 (個人、法人又は団体をいう。) が、暴力団 (暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律 (平成 3 年法律第 77 号) 第 2 条第 2 項に規定する暴力団をいう。以下同じ。) であるとき又は法人等の役員等 (個人である場合はその者、法人である場合は役員、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。) が暴力団員 (同法第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。) であるとき
 - 二 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
 - 三 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
 - 四 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき
- ④ 企画運営事業者 (ボストン・コンサルティング・グループ合同会社) と利害関係 (利害関係の範囲は上記 (7) (※) 参照) にないこと。
- ⑤ 応募 (成果提出) 締切日時までに成果を提出すること。